

GTFSデータ作成及び交通分野におけるデータ利活用に関する講習会（案）

■講習会のねらい

山形県地域公共交通計画に基づき整備を進めている「山形県地域公共交通関連情報共有基盤（やまがたオープンデータプラットフォーム）」では、各自治体及び交通事業者が作成する、路線バス等の経路検索などに活用される「標準的なバス情報フォーマット（GTFS-JP）」を集約・公開しています。

人事異動等によりデータを作成する担当者の変更となった場合でも、最新情報を遅滞なく公開できる体制を構築するべく、主に新任者を対象として、GTFS-JPデータ作成スキルの習得を目指すものです。

また、令和6年度は、公共交通に関するデータの種類やその活用方法、路線見直しのポイントなどを学ぶことを目的とした講習内容も設ける予定です。

■開催予定日

令和6年10月上旬予定（二日間）

■開催方法

会場（山形県庁）参加またはオンライン参加によるハイブリッド開催

■講習内容（いずれか1日だけでも参加可）

【一日目】新任者向けGTFS-JPデータ作成講習

- ・標準的なバス情報フォーマット（GTFS-JP）について
- ・データ整備/更新時のポイント解説
- ・データ作成実習
- ・データ更新に関する質疑応答

※当日は、参加者が各自PCを持参し、事前に送付する講習で使用する資料やデータを保存しておくことを念頭においています。

（R5同様）

【二日目】公共交通に関するデータ整備とその利活用について

- ・交通路線の現状把握
 - ・公共交通分野におけるデータの種類及びデータ整備の意義・手法
 - ・路線のあり方を検討する際に活用すべきデータ
 - ・路線維持に対する費用負担の考え方
- など